

テーマ

みんなが集い、交流する、素晴らしい空間

目標

地域・学校・子どもが一緒になって共通の目標に向かって進むイベントを企画し、みんなが共同作業する事により「連帯感」を育てる。

〔今年度の取組紹介〕

(1) ひつじプロジェクト

中学校の西斜面の雑草を除草する為に、ひつじを放牧。
4頭のひつじに生徒が名前を付け、世話をしてくれました。
この事業は、学校・PTA・地域が連携して取り組み、生徒はもちろんのこと地域へも大きなPRになりました。

これにより、学校に対する地域の人たちの関心を高め、
気持ちを学校に引き寄せる事が出来ました。新たな人材も現れ、今後の活動に大きく期待できると
思います。



(2) とみた合唱団



スを歌いしました。

皆が楽しく、心を一つにして歌いました。
多くの人に感動を与え、学年・学校を超えて
友情も生まれ、生徒の自信も生まれました。
企業などの協力もあり、素晴らしい取り組み
になりました。

〔今年度のまとめ〕

- (1) 今年は「ひつじプロジェクト」「とみきた合唱団」「登美ヶ丘フェスタ」など多くの新規事業がすべて成功いたしました。
- (2) 地域コミュニティが弱い地域で、この事業を展開する事によ、「生徒及び地域」に理解を深めることができました。
- (3) 地域ではじめてのイベント「登美ヶ丘フェスタ」は、教育協議会が主導して開催できました。
この教育活動が地域コミュニティの再構築に大きな影響を与えることが出来ました。
- (4) 生徒も含め、この活動に関心を持つ人が多くなり、この活動に期待する声が多くありました。

来年度に向けて

本年度は目標以上の成果がありましたが、事業の展開を通じて教育協議会の理解者を増やし、
運営の柱となるコーディネータを育てていきたいと思ひます。

また、学校（教職員）と相互理解を深め、連携を模索していきたいと思ひます。

テーマ

創立 30 周年からの新たな第一歩

目標

地域に根付くとともに、より広い視野と新たな発想による実践力を身に付けよう

今年度の取組

創立から 31 年目が過ぎ、より地域に根付くため様々な地域交流を行いました。日頃、本校の農園活動を行っている地域の方たちには収穫した野菜を使って収穫感謝祭としてカレーを作っていただきました。



普段は、農園活動と学校生活との結びつきはあまりありませんが地域の人たちとの交流ということで新たなふれあいができたように思います。



また、生徒会の本部役員が学校中を花で飾りたいとの発想から、これまであまり手入れができていなかったエリアを地域の方たちに耕していただきました。一緒に花を植え付けしたり、今後の作業工程のアドバイスを受たり、手入れ方法の打合せ等々地域の方たちとたくさんの共同作業ができました。



今年度のまとめ

これまでも地域の方たちが校内で活動をすることもありましたが具体的な取組を生徒と一緒にすることはありませんでした。今年度は、特に生徒との関わりを持つことで生徒が考えていることを理解してもらいながら地域の学校支援を具体化する動きができてきました。生徒会本部とPTAや地域との話し合いも実現し、少しずつではあるが学校と地域の連携が前に進んでいるように思います。

来年度に向けて

本校の生徒会が地域やPTAとミーティングができたことは大きな前進であると考えます。今子どもたちの興味は、防災教育や災害についても考えており、本校区の実態から考えると自主防災の組織は弱点です。その意味では、地元中学生の災害時での活躍は必要不可欠で、増々その必要性は重要です。収穫祭などを利用し、炊き出し訓練や地域合同の避難訓練など新たな防災教育にも地域あげて検討をすることも考慮し、計画を立てたいと思います。

テーマ

「地域で育む心豊かな登美っ子」

目標

地域の方とのふれ合いをとおして、心豊かな登美小っ子を育てる。

今年度の取組紹介

《体験学習事業（ゲストティーチャーによる授業）/ふれあい事業》

◆奈良筆作り体験 / お茶づくり体験 / オペラ鑑賞 / 読み聞かせボランティア【おはなしの森】/獣医師によるいのちの授業～いきものといっしょ等さまざまな体験授業を実施してきました。児童たちは初めての体験でその楽しさや難しさを知り、また、伝統ある仕事に取り組んでおられる方の思いなどを学び、これからの学校生活などに生かしていくことができる取組でした。



《環境整備活動事業》

◆通学路清掃、花壇整備、図書環境整備

保護者の方を中心に学校環境の整備を進めていただいています。特に図書整備では図書館の専門家の方の指示も受けながら進めています。その様な活動の様子を見ている児童も多く、その仕事の様子や環境整備の大切さを知る良い機会になっています。



今年度のまとめ

子どもたちは、日頃見ることのできないオペラ鑑賞やお茶作り、奈良筆作りなど 様々な体験学習を通して多くの事を学びました。またふれあい学習での人との関わりや命の大切さを学ぶ中からも、多くの「人・もの・こと」が生活の中に関わっている大切なことであり、これからも「心豊かな登美っ子」を意識させることができる貴重な学習や体験だったと思います。

来年度に向けて

学年に応じた様々な体験学習や行事等を通じて、今後ももっと保護者の方や地域の方々と連携を深め、さらなる交流・繋がりをもつことにより、心豊かな登美っ子の育成を目指していききたいと思います。

テーマ

瞳キラキラ 心わくわく 地域とともに新しい出会い、発見をもとめて

目標

- ・体験的学習や集団活動を通して生きる力を培う。
- ・環境整備や読書活動を通して心豊かな子どもを育てる。

今年度の取組紹介

○1年昔遊び体験（1月15日）

地域「まちづくり協議会」の方々が中心になり、地域老人会よりたくさんの方のボランティアの方に昔遊びを教えてくださいました。「コマ回し」「あやとり」「竹とんぼ」「おはじき」「お手玉」等、1年の子どもたちは夢中になって遊んでいました。自然な交流に心温まりました。



○6年茶道体験（2月3日）

地域のお茶の先生に「茶道」を習いました。正座し、静かにお茶をたてる経験をしました。おいしいお菓子を食べて、日本の伝統芸能にふれ、和の心を知る良い機会でした。



○朝読・お話の会・図書ボランティア（常時活動）

今年は、読書ボランティアの方に、1年生対象に、朝の読み聞かせ（朝読）を毎月約2回ずつしていただきました。子どもたちは、興味津々に静かに聴き入っていました。また、全校一斉国語の時間に「お話の会」を実施し、読書タイムとともに「読書」が習慣化されてきました。図書室の整備は図書ボラの方も増え、環境が整ってきています。



今年度のまとめ

○各学年の体験的学習は今年も充実していました。

地域やボランティアの方にお世話になり、学校だけでは体験できないことを身を持って学びました。

○読書活動推進事業は活性化し、読書の楽しさや習慣化が身についてきています。年間を通して活動していることが効果的だと思います。図書ボラの方も人数が増えつつあり喜んでいます。

○「ひがしとみガーデン」の環境は、材料の充実や栽培活動等で美しくなっています。



来年度に向けて

○基本的に今年度の取組を継続・推進していきます。児童の「生きる力」を育み、学校の目指す子ども像を達成するために、地域の協力と交流を効果的に生かしていきたいと思います。

○環境整備活動ボランティアが本年度は低迷していました。募集をかけていく必要があります。

○これからは、学年の特色や行事等を考慮しながら、取組内容や時期を決めることも大切です。

テーマ

わくわくどきどき地域と歩む幼稚園

目標

様々な感動体験をする中で豊かな心ややろうとする意欲を育みたくましく
生きる幼児の育成。
自分たちの地域に親しみ愛着を持つ幼児の育成。

今年度の取組紹介

地域のゲストティーチャーをむかえての書き方教室は子どもたちにとって初めての経験でした。回を重ねることで姿勢を崩さずに集中して取り組むことができるようになってきました。年長組対象のため1年生にいくという意欲もかさなって真剣に取り組むことができるようになってきました。地域の方の熱心な取組で家庭では取り組めない経験をすることができました。

親子野菜栽培活動では保護者の方も初めての経験で苗を植えたり、種を植えたり、成長する野菜に感動する姿が見られました。また、毎日の水やりを親子でしたり、収穫のとき親子で感動したりなど親子のつながりの媒体となりました。

「幼稚園でつくった野菜はほんとうにおいしいです。」「嫌いだった子も食べるようになりました。」「たくさん収穫できてうれしいです。」などの声が聞かれました。また畑の草抜きなど保護者や園児と一緒にしました。

子どもたちは育てるという楽しさを味わうことができました。保護者にとっては子どもたちとの心を通わせることのできるよい機会になりました。また花壇に花を植えたり、水やりをしたりして四季折々の美しさに感動したり保護者の方も「きれいですね。いい環境ですね。」と声をかける姿がありました。



今年度のまとめ

核家族や出入りの多い地域で地域が初めてという人が多いので、幼稚園が中心となって地域を知らせることが大切だと思います。そこで地域の方の教育力を生かし子どもたちが様々な体験をすることで保護者に地域の方々を知ってもらったりしました。こどもたちは体験をする中で集中して取り組む態度が育ったり、豊かなイメージをふくらまし、豊かな感情が育まれました。幼稚園と地域が連携を密にすることが大切だと思われました。また地域のサッカークラブ・高齢者施設に行き高齢者の方と接することもできました。親子野菜栽培活動や園内の花壇やプランターへの花苗植えは自分たちの幼稚園を見直すよい機会になりました。

来年度に向けて

今年度と同様地域の教育力を生かして様々な体験をしたり、地域の施設や学校に出かけたり自分たちの地域をもっと知るようになってほしいと思います。また、在園児だけでなく地域の未就園児にも幼稚園を知ってもらう機会をつくっていききたいと思います。

テーマ

ふれあいいっぱい 楽しい幼稚園

目標

様々な人々との温かなふれあいをもち、感動体験を通して自分の思いや考えを表現し豊かな心を育てる。

今年度の取組紹介

地域や保護者の方の協力を得て様々な人々や自然とふれあう機会をもち、心揺さぶられる感動体験を計画的につくりました。

☆とみきたスクールでは「ひつじプロジェクト」として、中学校に4頭のひつじがやってきました。6月には園児たちも中学校へ見に行きました。餌をあげたり体にさわったりしてふれあうことができました。初めはちょっと怖がっていた子も徐々に慣れて、帰りはひつじとの別れを惜しんでいました。9月に開催された「登美ヶ丘フェスタ」では、幼稚園にひつじがやってきて、お家の方も一緒にふれあいを楽しみました。その後、ひつじの絵を描くなどの表現活動も行いました。「登美ヶ丘フェスタ」の取組に参加し、幼稚園と地域の人々とのかかわりが広がりました。

☆草刈りモウモウクラブは年3回の草刈りだけでなく、樹木の剪定、花壇や畑作りなど、環境整備や野菜作りに大変お世話になりました。なかよし農園では、野菜のことや植え方を教えてもらい、収穫も一緒にしました。ジャガイモ、玉ねぎなどがたくさん獲れて園児たちは大喜びでした。カレーパーティーにもお客様として来ていただき、地域の方のやさしさや温かさにもふれることができました。



体、フワフワしてる。
かわいい目をしているね。

【モウモウクラブの方
と芋掘り】



今年度のまとめ

- 様々な体験を通して園児たちは身近な人々とのかかわりをもつことができました。周りの人の優しさや愛情を受けることで、楽しさや感謝の気持ちをもつことができました。
- 遊びの中で“体を動かす楽しさ”を感じられるように保育内容を検討し、手作りの遊具を増やすなどの環境作りをしたことで、園児は何事にも積極的にいろいろな運動にチャレンジする姿を見ることができました。
- 七夕や餅つきなどの行事を経験する中で季節感を味わったり、お茶会などの日本文化を経験したりすることができ、園生活が彩りある豊かなものになりました。

来年度に向けて

- 保護者に地域教育協議会や本園の取組を具体的に知らせ、関心を高めると共に幼稚園と地域と地域のかかわりを深めていきたいです。
- 「人・もの・できごと」との出会いを大切に楽しい経験を積み重ねていくことで、今後も豊かな心を育てていきたいと考えます。